

行政経営評価（施策評価）

ライフステージの視点 (生活と時間)	3. 働 く	産業関連の各分野を【働くライフステージ】に該当する分野と捉えます。
-------------------------------	---------------	-----------------------------------

施策分野	目指すべき姿
3-① 水産業振興	水産業関係者が生き生きと活動できるよう環境整備を推進し、海（獲る）と陸（流通・加工）が一体となった「水産都市・銚子」として飛躍するまち
3-② 農業振興	中心的な担い手の農地の集積・集約化が進み、収益性の高い農業を展開していくことにより、産業としての農業が持続されていくまち
3-③ 商工業振興	地場産業が活性化するとともに、新たな担い手による事業も展開され、雇用機会が確保されるまち
3-④ 観光振興	豊かな地域資源の活用と関係主体の連携により、魅力的な観光資源が形成され、多くの観光客が訪れるまち
3-⑤ エネルギー関連産業振興	大規模洋上風力発電施設の運転開始と再生可能エネルギーの地産地消を目的とした地域新電力事業の普及が実現したまち

■まちづくりの視点

市民の視点	誰もが自分なりの力を試し発揮する
行政の視点	市の強みを磨き、雇用の場を創出する
協働の視点	地域資源の共有を通じて価値づくりに取り組む

■成果指標と現状

指標名 (対象分野)	計画策定時 (基準年度)	3年後 (2021年度目標値)	5年後 (2023年度目標値)	現状 (最新)	10年後 (2028年度目標値)
① 廻船による水揚げ金額 (水産業振興)	221億円 (2017年)	221億円	221億円	216億円 (2023年)	221億円
② 農家1戸当たり経営耕地面積 (農業振興)	231アール (2015年)	252アール	257アール	244アール (2020年度)	270アール
③ J A営農センター銚子管内野菜出荷量 (農業振興)	115,260 t (2017年度)	118,500 t	119,500 t	111,968 t (2023年度)	122,400 t
④ 企業・起業家の立地・創業件数 (商工業振興)	8件 (2017年度)	延べ 30件	延べ 50件	延べ 9件 (2023年度)	延べ 100件
⑤ 市内事業所数 (商工業振興)	3,672箇所 (2016年)	3,600箇所	3,600箇所	3,096箇所 (2021年)	3,600箇所
⑥ 観光入込客数 (観光振興)	2,560千人 (2017年)	2,888千人	3,046千人	2,114千人 (2023年)	3,552千人
⑦ 外国人宿泊者数 (観光振興)	4,503人 (2017年)	10,375人	12,554人	5,343人 (2023年)	20,218人
⑧ 地域新電力会社の販売電力量 (エネルギー関連産業振興)	2018年6月 設立	4,100MWh	4,700MWh	2,742MWh (2023年度)	5,300MWh
⑨ 洋上風力発電設備の誘致 (エネルギー関連産業振興)	促進区域指定から 7年後運転開始※	環境影響評価	着工	環境影響評価・ 連携協定の締結	運転開始

※促進区域指定から7年後運転開始の目標スケジュール

(起点) 促進区域指定 ⇒ [1年後]事業者公募・決定 ⇒ [2年後]環境影響評価 ⇒ [4年後]着工 ⇒ [7年後]運転開始

成果指標と現状の分析
<p>水産業振興の分野では、水揚量の減少により指標の値は目標値を下回ったものの、銚子漁港は全国屈指の水揚量を誇っている。漁港整備の促進では、大型船や廻船が入港可能な漁港の機能確保及び防災機能の強化を図るため、千葉県と連携し、特定漁港漁場整備計画に基づく整備を進めた。農業振興の分野では、指標の値は前年度（2022年度）との比較で改善し、春キャベツの生産量も日本一を継続している。</p> <p>商工業振興の分野では、企業・起業家の立地・創業件数の値が目標値を大きく下回っている。人口減少や高齢化に伴う廃業も続いており、事業所数の減少を止めることは難しい状況にある。地域活性化起業人を活用したことで、都市部の民間企業の知見を生かした取組が実施できた。観光振興の分野では、観光入込客数の回復が十分ではない。外国人宿泊者数は前年と比較して大幅に増加したものの、目標値を下回っている。銚子みなとまつりの花火大会は、千葉県誕生150周年・市制施行90周年を記念して過去最大の規模（花火打上げ1万発）で実施し、好評を得た。</p> <p>エネルギー関連産業振興の分野では、洋上風力発電の2028年9月の運転開始に向け、地域共生策の検討や環境影響評価の手続きが進んでいる。物価高騰による事業費の増大や工事事業者の人員不足の影響が心配される。銚子電力株式会社は、東京電力の託送料金単価改定の影響で、高圧、低圧の動力プランの電気料金単価の値上げを行った。再エネの地産地消を目指すため自主電源を確保するなど新たな経営戦略が求められる。</p>

行政経営評価シート

事務事業名	銚子漁港整備経費	所管	水産課
-------	----------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(1)-1 漁港整備の促進		
	関連計画	○ : 総合戦略		
		— : その他 (—)		
	目的	国の定める特定漁港漁場整備事業計画に基づき銚子漁港を整備することで、地元水産業の振興を図る。		
	対象	千葉県		
事業内容	国の定める特定漁港漁場整備事業計画に基づき、市及び地元漁業者等の意見を取り入れながら、漁港管理者である千葉県が行う漁港整備事業の費用の一部を地元負担として市が負担する。			

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	312,593	140,328			121,700	18,628

事業の実績と成果	活動指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度	
		銚子漁港建設費負担金	目標値	—	—
実績値			140,328千円	87,738千円	
達成率			—	—	
			目標値		
			実績値		
			達成率		
事業成果指標項目		目標/実績	令和5年度	令和4年度	
	()	目標値			
		実績値			
		達成率			
	()	目標値			
		実績値			
		達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載 特定漁港漁場整備事業計画に基づき千葉県が実施する事業であり、令和5年度は漁港内の静穏度を確保するための沖南防波堤関連整備のほか、東突堤整備、-7.5m岸壁整備や泊地の浚渫工事などが行われた。大型船や廻船が入港可能な漁港の機能確保及び防災機能の強化を継続して図っていく。					

事業の評価	評価視点			総合評価	今後の方向性
	必要性	有効性	効率性		
	高い	高い	高い	A:計画どおりに事業を進めることが適当	維持

事業の課題と改善策	事業の課題	旋網漁船が大型化しており、大型船が入港可能な漁港への早期の機能強化が求められている。		
	課題に対する改善策	大型船の入港が可能な漁港の機能強化に向けて、国や事業主体である千葉県に働きかける。		

行政経営評価シート

事務事業名	外川漁港整備経費	所管	水産課
-------	----------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(1)-1 漁港整備の促進		
	関連計画	○ : 総合戦略		
		— : その他 (—)		
	目的	市及び地元漁業者の意見を取り入れながら外川漁港を整備することで、地元水産業の振興を図る。		
	対象	千葉県		
事業内容	漁港管理者である千葉県が行う漁港整備事業の費用の一部を地元負担として市が負担する。			

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	83,870	43,697			39,100		4,597

事業の実績と成果	活動指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度
	外川漁港建設費負担金	目標値	—	—
		実績値	43,697千円	25,043千円
		達成率	—	—
		目標値		
		実績値		
		達成率		
		目標値		
		実績値		
		達成率		
事業成果指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度	
()	目標値			
	実績値			
	達成率			
()	目標値			
	実績値			
	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
漁港管理者（千葉県）が実施する事業であり、令和5年度は航路・泊地浚渫を行った。今後も継続して地元船が安全に入港できるよう漁港の機能確保を図っていく。				

事業の評価	評価視点			総合評価	今後の方向性
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当	維持
	高い	高い	高い		

事業の課題と改善策	事業の課題	事業の進捗等に伴い年度毎の負担金も増減するため、予算の見通しが難しい。（財政負担が大きい）
	課題に対する改善策	事業主体である千葉県と密に連携を図り、必要な事業費（負担金）の把握に努める。

行政経営評価シート

事務事業名	廻船誘致対策経費	所管	水産課
-------	----------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(1)-2沿岸漁業・水産加工業の振興		
	関連計画	○ : 総合戦略		
		— : その他 (—)		
	目的	銚子漁港へ水揚げされる数量の約8割が廻船で占められている現状に鑑み、廻船の水揚優秀船等への賞状及び記念品贈呈を行うことにより、市からの謝意を表し、また、廻船の船主訪問を行うことにより更なる廻船誘致を図る。		
	対象	銚子漁港を利用する廻船及び関係者		
事業内容	銚子漁港を利用する廻船に対し、謝意を伝えるための現地訪問と賞状及び記念品の授与を行う。また、廻船を誘致するための船主訪問を行う。			

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	483	387				387	

事業の実績と成果	活動指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度	
	廻船の入港数	目標値	8,000隻	8,000隻	
		実績値	5,682隻	6,459隻	
		達成率	71.0%	80.7%	
		目標値			
		実績値			
		達成率			
	事業成果指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度	
		廻船の水揚量 (廻船の水揚量)	目標値	240,000 t	240,000 t
			実績値	158,869 t	201,887 t
達成率	66.2%		84.1%		
()	目標値				
	実績値				
	達成率				
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載					
旋網漁船においては、年々大型化が進んでおり、大型船が入港するための漁港整備を加速していく必要がある。					

事業の評価	評価視点			総合評価	今後の方向性
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当	維持
	やや高い	やや高い	やや高い		

事業の課題と改善策	事業の課題
	効果的な廻船誘致の方法
	課題に対する改善策
スピード感を持った漁港の整備と切れ目のない表敬活動	

行政経営評価シート

事務事業名	漁業振興等促進経費	所管	水産課
-------	-----------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(1)-6その他【水産業振興】
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	本市の漁業振興を図るために事業を行う者に対し、銚子市漁業振興基金を活用し、漁業と洋上風力発電事業との協調・共生・漁業振興等の取組を促進させる。
	対象	銚子市漁業協同組合
事業内容	漁業と洋上風力発電事業との協調・共生・漁業振興等の取組事業を行い、洋上風力発電の稼働後においても、これまで以上に漁業を繁栄させ営んでいける環境を整える。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	332,281	281,591				281,563

事業の実績と成果	活動指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度
		目標値		
		実績値		
		達成率		
		目標値		
		実績値		
		達成率		
		目標値		
		実績値		
		達成率		
事業成果指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度	
()	目標値			
	実績値			
	達成率			
()	目標値			
	実績値			
	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
本市の漁業の振興を図るために事業を行う者に対し、銚子市漁業振興基金を活用し、漁業と洋上風力発電事業との協調・共生・漁業振興等の取組を促進させる。令和5年度の取り組みとして、組合員支援事業（燃料助成、漁船保険料助成、漁獲共済掛金助成及び漁業権行使料助成）、施設整備事業及び漁場実態調査事業を行った。				

事業の評価	評価視点			総合評価	今後の方向性
	必要性	有効性	効率性		
	やや高い	やや高い	やや高い	A:計画どおりに事業を進めることが適当	維持

事業の課題と改善策	事業の課題	漁業と洋上風力発電事業との協調・共生・漁業振興等の取組を促進させるための効果的な事業の実施
	課題に対する改善策	地元漁業者の要望等を取り入れながら、銚子市漁業協同組合と連携し、漁業と洋上風力発電事業の協調・共生・振興の取組に対し適切に補助を行っていく。

行政経営評価シート

事務事業名	広域営農団地農道管理経費（農村地域防災減災事業）	所管	農産課
-------	--------------------------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(2)-1 農業生産の基盤整備
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	国道・県道に並ぶ災害時の緊急輸送道路に位置付けられた重要路線である本広域農道が被災した場合、避難・救護活動や災害時の円滑な輸送に支障が生じる二次被害が想定されるため、計画的な維持管理を図る。
	対象	農業生産者、道路利用者
事業内容	本広域農道で、令和元年度に7号橋梁（平成21年完成）、令和4年度に8号橋梁（平成18年完成）の耐震性調査を実施し、耐震補強対策が必要とされた。このため、同じ耐震基準で建造された9号橋梁（平成21年完成）の耐震性調査を令和5年度に、10号橋梁（平成22年完成）の耐震性調査を令和6年度にそれぞれ実施する。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	4,950	4,950	4,950			

事業の実績と成果	活動指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度
		目標値		
		実績値		
		達成率		
		目標値		
		実績値		
		達成率		
		目標値		
		実績値		
		達成率		
事業成果指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度	
()	目標値			
	実績値			
	達成率			
()	目標値			
	実績値			
	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
令和5年度に9号橋梁（平成21年完成）の耐震性調査を実施し、耐震補強対策が必要と診断された。				

事業の評価	評価視点			総合評価	今後の方向性
	必要性	有効性	効率性		
	高い	高い	高い	A:計画どおりに事業を進めることが適当	維持

事業の課題と改善策	事業の課題	令和6年度に東総台地Ⅱ期地区の全4橋梁の耐震性調査が完了し、耐震補強対策が必要とされる場合、耐震化対策整備計画の策定が必要となるが、事業主体や実施時期については、現在、千葉県が進めている東総台地Ⅰ期地区の耐震補強対策が遅れているため、Ⅱ期地区に係る部分の詳細は未定となっている。
	課題に対する改善策	令和5年度に県営事業で東総台地Ⅰ期地区の耐震化補強整備計画策定業務を実施し、追加の調査業務が必要となったため、県において補助事業の採択に向けて事務を進めている。そのため、耐震化対策が進展するまで、令和5年度の橋梁定期点検で指摘された必要な維持管理を実施し、現状の把握に努めるとともに橋梁の保全管理に努める。

行政経営評価シート

事務事業名	地域活性化起業人制度活用経費	所管	公民連携事業室
-------	----------------	----	---------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(3)-4その他【商工業振興】
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	民間企業等の知見を活かし、地場産品の魅力向上や新たな商品の開発、販路拡大等を支援することで、地域産業の振興と地域活性化を図る。
	対象	地域活性化起業人制度の地域要件対象となる都市部の企業等に勤務する者
事業内容	民間企業から最大3年間社員を派遣してもらい、地域独自の魅力や価値向上につながる取組を進める。 ○(株)カヤック (令和5年6月～) 市内事業者への商品開発支援、商品のリブランディング 等 ○(株)ABC Cooking Studio (令和6年1月～) 地場産品の魅力向上のためのレシピ提案、メニュー開発 等	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	7,923	6,066				6,066

事業の実績と成果	活動指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度
	地域活性化起業人数	目標値	2人	—
		実績値	2人	—
		達成率	100%	—
		目標値		
		実績値		
		達成率		
		目標値		
		実績値		
		達成率		
事業成果指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度	
()	目標値			
	実績値			
	達成率			
()	目標値			
	実績値			
	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
起業人それぞれが地元事業者と連携し、自身の知見・ノウハウを活用しながら地場産品の魅力向上、販路拡大に貢献している。				

事業の評価	評価視点			総合評価	今後の方向性
	必要性	有効性	効率性		
	やや低い	やや高い	やや高い	A:計画どおりに事業を進めることが適当	維持

事業の課題と改善策	事業の課題	3年の起業人派遣期間終了後の起業人及び派遣元企業と地元事業者の関係構築
	課題に対する改善策	派遣期間終了後も起業人及び派遣元企業と地元事業者の関係性が継続できるよう支援体制等を検討する。

行政経営評価シート

事務事業名	地域おこし協力隊事業経費（魅力発信）	所管	産業振興室
-------	--------------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(4)-2多様な地域資源の活用		
	関連計画	○ : 総合戦略		
		— : その他 (—)		
	目的	新たな人の流れをつくるため、都市部の人材を地域おこし協力隊として委嘱し、移住してもらう。隊員は、地域課題の解決や地域資源の活用につながる地域活動に従事する。任期終了後も本市に定住してもらうことを目指す。		
	対象	地域おこし協力隊制度における地域要件の対象となる都市部の人材		
事業内容	委嘱前の経験やキャリアを活かし、銚子の魅力発信や市内事業者の支援、地域産品の魅力のブラッシュアップなどに取り組む地域おこし協力隊を令和4年5月と令和5年1月に委嘱し活動している。なお、経費の全額が地方交付税（特別交付税）で措置される。			

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	8,786	8,317					8,317

事業の実績と成果	活動指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度
	地域おこし協力隊員数（魅力発信）	目標値	2人	1人
		実績値	2人	2人
		達成率	100%	200%
		目標値		
		実績値		
		達成率		
		目標値		
		実績値		
		達成率		
事業成果指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度	
()	目標値			
	実績値			
	達成率			
()	目標値			
	実績値			
	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
高い情報発信力を誇る銚子電鉄と連携した取組で銚子市の魅力発信に努めてきた。さらに、地域おこし協力隊の任期終了後も見据え、地域で引き続き活躍していくため、地元事業者との関係強化にも努めている。また、銚子市の産品、特に食に関する情報発信を通じた銚子市の魅力発信を続けており、その中で交流がある事業者の事業サポートにも取り組んでいる。				

事業の評価	評価視点			総合評価	今後の方向性
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当	維持
	高い	やや高い	やや高い		

事業の課題と改善策	事業の課題	地域おこし協力隊の活動状況が分からない、見えないといった声が寄せられることもあるため、より多くの方々に地域おこし協力隊の活動を知っていただけるよう、時間をかけた有効な情報発信が求められる。
	課題に対する改善策	
	地域おこし協力隊の活動状況を知っていただけるよう、広報ちょうしなどを通じた情報発信に努める。地域おこし協力隊員と市民や市内各種団体との連携を強化しながら、引き続き銚子市の魅力発信に取り組んでいく。	

行政経営評価シート

事務事業名	みなとまつり関係経費	所管	産業振興室
-------	------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(4)-2多様な地域資源の活用
	関連計画	○ : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	銚子市の夏を代表する一大イベントである「銚子みなとまつり」の開催を支援し、地域の活性化、祭りの伝統及びその魅力の承継を推進する。
	対象	市民、観光客及び市内事業者
事業内容	例年8月の第1土曜日に花火大会、日曜日にみこしパレードを実施している。令和2年度以降、新型コロナウイルスの影響により中止が続いてきたが、令和5年度は4年ぶりに開催され、花火大会は千葉県誕生150周年、銚子市誕生90周年を記念して過去最大規模となった。	

(単位: 千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	14,994	6,811				6,811	

事業の実績と成果	活動指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度
	銚子みなとまつり事業負担金	目標値	—	—
		実績値	6,811,111円	1,581,282円
		達成率	—	—
		目標値		
		実績値		
		達成率		
	事業成果指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度
		目標値		
		実績値		
()	目標値			
	実績値			
	達成率			
()	目標値			
	実績値			
	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
大きな事故もなく、安全に盛大な銚子みなとまつりを開催することができたこと、また、花火の打上数が例年と比較して多かったことなどもあり、まつり開催後に各方面から寄せられる声は好意的なものも多く、十分な事業成果があったものと考えられる。(花火の打上数 令和元年度5,500発、令和5年度1万発) なお、予算現額に対する決算額の大幅な減少は、みなとまつりの実施主体の銚子みなとまつり実行委員会が、県の千葉県誕生150周年記念事業補助金776万3千円を受け、市からの負担金が大幅に抑制されたためである。				

事業の評価	評価視点			総合評価	今後の方向性
	必要性	有効性	効率性	B:事業の進め方の改善の検討	維持
	やや高い	高い	やや高い		

事業の課題と改善策	事業の課題	物価や人件費の高騰により、みなとまつり開催に要する経費の増加が見込まれる。また、全国的にもイベントでの事故などが多く、警備体制の強化が求められている。全国の花火大会においても、経費の増加や人手不足を理由に大会を休止する例がある。今後、安心・安全にみなとまつりの開催を継続していくためには、警備費などの財源と人材の確保が大きな課題である。
	課題に対する改善策	有料観覧エリアやメッセージ花火での収益増加や、商工会議所と連携した協賛企業への協力依頼などにより財源の確保に努めるとともに、機運の醸成にも努め、多くの人の協力を得ながら今後も引き続きみなとまつりを開催していけるよう取組を進めていく。

行政経営評価シート

事務事業名	地域おこし協力隊事業経費（地域再エネ活用）	所管	洋上風力推進室
-------	-----------------------	----	---------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(5)-1再生可能エネルギーの地産地消の推進			
	関連計画	○	：総合戦略		
		—	：その他（ — ）		
	目的	本市への新たな人の流れをつくるため、都市部の人材を地域おこし協力隊として委嘱し、移住してもらう。隊員は、地域課題の解決や地域資源の活用につながる地域活動に従事する。任期終了後も本市に定住してもらうことを目指す。			
	対象	地域おこし協力隊制度の地域要件対象となる都市部の人材			
事業内容	洋上風力発電や地域新電力（銚子電力株）に関わる事業者などと連携を図り、再生可能エネルギーの活用を通じた持続可能なまちづくりの推進に貢献できる地域おこし協力隊1名を令和4年4月に委嘱。令和5年度は1名増員予定。2名での活動を目指す。経費の全額が地方交付税（特別交付税）で措置される。				

（単位：千円）

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	9,600	7,091					7,091

事業の実績と成果	活動指標項目	目標／実績	令和5年度	令和4年度
	地域おこし協力隊員数（地域再エネ活用）	目標値	2人	2人
		実績値	2人	1人
		達成率	100%	50%
		目標値		
		実績値		
		達成率		
	事業成果指標項目	目標／実績		
		目標値		
		実績値		
()	目標値			
	実績値			
	達成率			
()	目標値			
	実績値			
	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
令和4年度に委嘱した隊員1名を引き続き委嘱し、銚子市沖洋上風力発電事業の将来的にメンテナンスを担う企業の運営に関わった。令和5年7月1日付で、隊員1名を委嘱し、地域新電力会社である銚子電力株式会社と連携し再生可能エネルギーの普及啓発に努め、地域活性化や地域産業の振興に取り組んだ。				

事業の評価	評価視点			総合評価	今後の方向性
	必要性	有効性	効率性	B:事業の進め方の改善の検討	拡充
	やや高い	やや高い	やや高い		

事業の課題と改善策	事業の課題	ゼロカーボンシティ銚子の実現に向け、風力発電や太陽光発電などの地域の再エネを活用した地域の脱炭素化につながる事業を進めていく予定であり、専門的な知見を有する人材や関係企業の活用・連携が求められる。
	課題に対する改善策	再生可能エネルギーの活用を通じた持続可能なまちづくりの推進のため、今後、洋上風力発電施設の運転管理業務及び維持管理業務、並びに洋上風力発電事業の視察受け入れ事業に関わる地域おこし協力隊（地域再エネ活用）の委嘱を検討する。

行政経営評価シート

事務事業名	ゼロカーボンシティ推進経費	所管	洋上風力推進室
-------	---------------	----	---------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(5)-1再生可能エネルギーの地産地消の推進		
	関連計画	○ : 総合戦略		
		○ : その他 (銚子市ゼロカーボンビジョン)		
	目的	銚子市ゼロカーボンビジョンに基づき、地域内における脱炭素社会の基盤づくりに官民協働で取り組み、地域新電力や洋上風力発電事業者との連携を図りながら2050年カーボンニュートラルによるゼロカーボンシティの実現を目指す。		
	対象	市民、市内企業		
事業内容	地域の再エネポテンシャルを最大限活用した再エネの導入を促進し、地域経済の活性化、地域課題の解決につなげる取組を進める。令和5年度は、「公共施設等太陽光発電設備導入調査」を実施した。			

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	9,928	9,475				9,475	

事業の実績と成果	活動指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度	
		公共施設等太陽光発電設備導入調査	目標値	年度内調査完了	—
実績値			令和6年1月完了	—	
達成率			—	—	
			目標値		
			実績値		
			達成率		
			目標値		
			実績値		
			達成率		
	事業成果指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度	
	()	目標値			
		実績値			
		達成率			
	()	目標値			
		実績値			
達成率					
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載					
銚子市ゼロカーボンビジョンにおいて重点的な取組とする、太陽光発電設備の導入目安（2030年までにREPOS（再生可能エネルギー情報提供システム）による導入ポテンシャルの20％）である目標導入量2メガワットの実現に向け、築年数、防災の位置づけ、災害リスク等を踏まえた、公共施設等への太陽光発電設備の導入可能性を調査した。					

事業の評価	評価視点			総合評価	今後の方向性
	必要性	有効性	効率性		
		やや高い	やや高い	やや高い	B:事業の進め方の改善の検討

事業の課題と改善策	事業の課題	令和4年度に策定したゼロカーボンビジョンに基づき、地域の脱炭素化につながる事業を進める必要があることから、専門的な知見を有する人材や企業の活用、連携のほか、国や県の政策との連携が求められる。
	課題に対する改善策	2050年ゼロカーボンシティ実現に向け、実行性・実現性を高めていくため、銚子市・市民・事業者が一体となり取り組める事務事業編と区域施策編を包含した「改訂版ゼロカーボンビジョン」を策定する。今後、公共施設への太陽光発電設備の導入にあたり、調査結果を踏まえ、関係部署との調整を進めるとともに銚子電力株式会社との連携について検討していく。

行政経営評価シート

事務事業名	名洗港港湾整備経費	所管	洋上風力推進室
-------	-----------	----	---------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(5)-2洋上風力発電施設の誘致		
	関連計画	○	：総合戦略	
		—	：その他（ — ）	
	目的	洋上風力発電事業の建設補助、維持管理港として整備し、洋上風力発電事業を推進する。		
	対象	港湾管理者（千葉県）		
事業内容	令和10年9月に予定されている洋上風力発電施設の運転開始に向け、名洗港の港湾機能の強化を図るため、千葉県が実施する防波堤や岸壁などの必要な施設整備に係る市負担金。令和5年度は防波堤の改良工事や岸壁の補修工事などを実施した。			

（単位：千円）

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	273,217	215,202			182,000		33,202

事業の実績と成果	活動指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度
	名洗港港湾整備負担金	目標値	213,541千円	—
		実績値	215,202千円	70,788千円
		達成率	—	—
		目標値		
		実績値		
		達成率		
		目標値		
		実績値		
		達成率		
事業成果指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度	
()	目標値			
	実績値			
	達成率			
()	目標値			
	実績値			
	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
千葉県が実施する名洗港港湾整備事業であり、令和5年度は名洗港の防波堤の改良工事や岸壁の補修工事などを実施した。				

事業の評価	評価視点			総合評価	今後の方向性
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当	維持
	高い	高い	やや高い		

事業の課題と改善策	事業の課題	令和10年9月に予定されている洋上風力発電施設の運転開始に向け、千葉県が実施する名洗港港湾整備事業に対し、引き続き地元負担金の支出が求められており、財政負担が大きい。
	課題に対する改善策	
	名洗港の整備について、必要な機能整備及び財政措置を国や県に要望する。	

行政経営評価シート

事務事業名	洋上風力推進経費	所管	洋上風力推進室
-------	----------	----	---------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(5)-2洋上風力発電施設の誘致		
	関連計画	○	：総合戦略	
		—	：その他（ — ）	
	目的	漁業と共生する洋上風力発電施設の誘致を実現し、洋上風力発電施設の整備に伴う雇用、税収、交流人口増加などによる地域経済の活性化を目指す。		
	対象	国、県、漁業者、商工業者、観光事業者、市民、発電事業者		
事業内容	漁業者や商工業者、発電事業者らと連携の上、漁業との共存・共栄を具現化し、漁業振興、産業振興、経済発展につなげる具体的な施策を検討するとともに、市民向け説明会の開催などにより市民の理解促進に努め、認知度の向上を図る。			

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	3,208	245				245	

事業の実績と成果	活動指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度
	市民向け説明会 参加者・開催数	目標値	100人/1回	100人/2回
		実績値	—	150人/1回
		達成率	—	—
	広報配布物（配布数・発行回数）	目標値	27,000枚/1回	27,000枚/1回
		実績値	—	—
		達成率	—	—
	事業成果指標項目	目標値		
		実績値		
		達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
令和5年6月13日、銚子市と三菱商事株式会社は、エネルギー・トランスフォーメーション及びデジタル・トランスフォーメーションの一体推進による地域創生に関し、相互に連携を強化することについての連携協定を締結した。				

事業の評価	評価視点			総合評価	今後の方向性
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当	維持
	高い	やや高い	やや高い		

事業の課題と改善策	事業の課題	国、県、漁業者、商工業者、観光事業者、発電事業者などと連携し、地元との協調・共生のもと、地域活性化につながる洋上風力発電施設の誘致を目指すことが求められている。
	課題に対する改善策	地域活性化につながる洋上風力発電施設の誘致を実現するため、漁業者や商工業者、発電事業者らと連携の上、洋上風力発電施設の運転開始に先駆けて関係人口の増加を促進する取組を進めるとともに、洋上風力発電事業に対する市民の理解促進に努め、認知度の向上を図る。